

## 今、なぜ万博なのか

- 21世紀に入り、経済や社会の構造や質が大きく変化している。
- これに対応した新しい社会像・生活風景をトータルで提示できていない。
- この実現は、広範な分野の産業・科学技術を戦略的に結集する必要がある。
- さらに、人間が楽しく人生を送ることのできる空間を実現するには、哲学、社会学、心理学などの人文科学の参画も必須である。
- この課題に対し、新しい未来社会像をトータルで具体的に提示できる能力(産業力、文化的背景、経済力、研究成果など)を有する有力な国は日本。

## 今、なぜ万博なのか (21世紀社会の本質的变化)

### 20世紀

大量生産産業構造  
情報化社会(パソコンの普及・事務の効率化)  
医療(ブロックバスター、画一治療)  
高齢化社会(一部)  
人口爆発懸念  
環境問題(自然破壊、公害)  
エネルギー問題(石油利用、原子力開発)  
食糧問題(量的確保)  
貧困問題  
資本主義・社会主義対立  
人間生活(衣食住、モノの充実)  
ロボティクス(産業ロボット)

### 21世紀

大規模生産＋地域対応＋個人対応  
情報化社会(ビッグデータ、個人情報、人工知能2045年問題)  
医療(再生医療、遺伝情報、パーソナライズドメディシン)  
超高齢化社会(世界的規模)  
少子化問題  
環境問題(持続可能性、多様性維持)  
エネルギー問題(新エネルギー、自然エネルギー)  
食糧問題(量的確保＋安全性、植物工場)  
格差問題  
宗教対立、ローカル対立  
人間生活(こころの充実、コミュニケーションの深化)  
ロボティクス(人間生活介入、介護ロボット)

## なぜ、大阪なのか

- ・人間(庶民)の文化をいち早く確立したのは大阪(文化的実力)  
江戸時代の文楽などにかがえる生活風景  
お笑いの中心は現在でも大阪(関西) おばちゃんの文化
- ・大阪は世界に先んじて近代的経済体制を創出し、現在でも、幅広い分野での産業活動が活発(総合的提案可能な産業力)
- ・産業界、自治体、学術機関の大規模連携が可能

21世紀型社会において、より人間にフィットし、個々人が楽しく、お互いに連携し、生き生きと生活できる空間や仕組みを提示する万博の提案できる地域は、大阪だけ。

## テーマの一例

### 楽しいエージレス社会（楽しく明るい高齢化社会）

人間が年齢に関係なく、社会に関わり合い、人々と充実したコミュニケーションができる楽しい社会像を、先端産業技術や人間の深い理解に基づく考え方をもとに提示する。

かならずしも、高齢者だけでなく、若い世代の社会参画支援や就職構造の改善なども包含し、また、男女共同参画支援にも役立つ社会像とする。



